

苫小牧沖フェリー火災

船内、黒煙と爆発音、乗客のトラック運転手ら、「命からがら避難」

2015/08/01 06:30

31日夕、苫小牧沖で火災を起こしたフェリー。船内には大きな破裂音が響き渡り、船尾などから黒煙が立ち上がった。夏休み中の航海は、港への着岸を目前に暗転。乗客71人は近くを航行していた他のフェリーなどに救助されたが、乗員1人が行方不明のままとなっている。深夜に苫小牧西、東両港にたどり着いた乗客らは一様にこわばった表情で、脱出の様子を振り返った。

「ボン」ー。函館市の男性運転手(48)は「だいせつ」の船内で大きな爆発音を聞き、慌てて4階のドライバー専用室に荷物を取りに行った。「船内はすごく熱かった。甲板の排気口から真っ黒とグレーの2色の煙が吹き出していた」。火の手が相当回っていたのか、タイヤが爆発するような音がとどろいた。

函館市の別のトラック運転手(59)は部屋で横になっていたところ、船内放送で火災に気付いた。集められたロビーで状況説明を受け、救命艇に移った。「人数確認のため、一人一人の体に番号が付いたテープが貼られた。自分は右肩だった」。船内に緊迫感が漂った。

船内から緊迫した様子を携帯電話で伝えた乗客も多かった。空知管内南幌町の運輸会社には31日午後8時すぎ、40代の男性運転手から疲れた声で「煙が出て怖かった。命からがら逃げた」と電話があったという。

私たちは未来(あした)へつなぐ、トラックドライバー “私たちの新3K”

“活力”	Katsuryoku	輸送を通して、モノと地域を結び、北の大地に活力を運びます
“希望”	Kibou	豊かな暮らしを支え、明日に希望が輝く仕事です
“貢献”	Kouken	環境や人にやさしく、笑顔でふれあう地域社会に貢献しています

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

子供たちが夏休みに入りました

- 子供の飛び出しに要注意！
- スピードを落として、しっかり安全確認！

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

現場でキャリアダンプが13m転落、男性死亡

◆積卸作業時、地面の水平、登坂板の位置確認◆

2015年07月29日 09:38

28日正午ごろ、山形県の造林作業現場で、森林組合職員の男性(21)がキャリアダンプごと約13メートル下の沢に転落しているのを同僚が見つかり、119番通報した。男性は心肺停止状態で病院に搬送されたが、外傷性脳挫傷のため、死亡が確認された。警察などによると、拿BB製は作業道を走行中、ぬかるんだ道でバランスを崩し、沢に転落。沢の傾斜部で上半身部分が運搬車の下敷きになった。男性は同日午前8時ごろから同僚と計3人で作業を行っていた。

片側1車線のカーブ トラック同士正面衝突

2015年7月31日(金)11時22分

31日午前5時55分ごろ、福岡県の片側1車線のカーブの国道で、男性(25)の4トントラックと、男性(34)の10トントラックが正面衝突、運転手2人は負傷して病院に搬送された。警察によると、命に別条はないという。この事故で国道3号の現場付近は約4時間、通行止めになった。

117km/hで酒気帯び運転 “免許写し改ざん”発覚逃れ

2015.7.30 22:01

愛知県は30日、公務員の看護師の男性職員(27)が昨年3月、時速117キロで酒気帯び運転し、道交法違反の罪で罰金33万5千円の略式命令を受けていたと発表した。上司に報告せず、全職員の運転免許の点検は改ざんした免許証の写しを提出し、発覚を逃れていた。県は懲戒処分する。県によると、職員は昨年3月18日午後10時ごろから3時間ほど、友人宅で飲酒。仮眠して帰宅中の19日午前10時半ごろ、制限速度80キロの自動車専用道路を117キロで走り、県警に摘発された。